

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名①</li> <li>2 訓読み・送り仮名②</li> <li>3 熟語①</li> <li>4 熟語②</li> <li>5 熟語③</li> <li>6 異字同訓・同音異義</li> <li>7 誤字訂正①</li> <li>8 誤字訂正②・類義語</li> <li>9 反対語</li> <li>10 漢字の意味・使い方①</li> <li>11 漢字の意味・使い方②</li> <li>12 項目別模擬試験①</li> <li>13 項目別模擬試験②</li> <li>14 直前模擬試験①</li> <li>15 直前模擬試験②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	○
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	民間企業実務経験のある教員による講義。社会で活躍できる人材育成をテーマに、基本的なビジネスマナーの習得、幅広い分野で役に立つコミュニケーションスキルの習得など、面接試験に必要な知識を身につける。
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実社会で通用するビジネスマナー、コミュニケーションスキルの習得、自己PRの作成
教科書	オリジナルテキスト
特記	民間企業で実務経験のある職員が実例等をあげながらビジネススキルの習得と就職面接試験に対する知識を演習を通じて指導する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接の基本</li> <li>2 入退室の仕方</li> <li>3 スーツの着こなし、身嗜み確認</li> <li>4 自己PR作成①</li> <li>5 自己PR作成②</li> <li>6 自己PR作成③</li> <li>7 面接質問項目①</li> <li>8 面接質問項目②</li> <li>9 面接質問項目③</li> <li>10 会計事務所・企業研究①</li> <li>11 会計事務所・企業研究①</li> <li>12 模擬面接練習①</li> <li>13 模擬面接練習②</li> <li>14 模擬面接練習③</li> <li>15 模擬面接試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的(基礎編)</li> <li>2 簿記一巡 I (基礎編)</li> <li>3 簿記一巡 II (基礎編)</li> <li>4 商品売買(基礎編)</li> <li>5 決算整理 I (基礎編)</li> <li>6 精算表(基礎編)</li> <li>7 現金および預金(基礎編)</li> <li>8 手形(基礎編)</li> <li>9 決算整理 II (基礎編)</li> <li>10 その他の債権および債務(基礎編)</li> <li>11 有形固定資産(基礎編)</li> <li>12 決算整理 III (基礎編)</li> <li>13 決算整理 IV (基礎編)</li> <li>14 株式会社の純資産(基礎編)</li> <li>15 英米式決算法(基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用漢字の訓読み・送り仮名① 2 応用漢字の訓読み・送り仮名② 3 応用漢字の熟語① 4 応用漢字の熟語② 5 応用漢字の熟語③ 6 応用漢字の異字同訓・同音異義 7 応用漢字の誤字訂正① 8 応用漢字の誤字訂正②・類義語 9 応用漢字の反対語 10 応用漢字の意味・使い方① 11 応用漢字の意味・使い方② 12 応用漢字項目別模擬試験① 13 応用漢字項目別模擬試験② 14 応用漢字直前模擬試験① 15 応用漢字直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	応用電卓演習①
	2	応用電卓演習②
	3	応用電卓演習③
	4	応用電卓演習④
	5	応用電卓演習⑤
	6	応用電卓演習⑥
	7	応用電卓演習⑦
	8	応用電卓演習⑧
	9	応用電卓演習⑨
	10	応用電卓演習⑩
	11	応用電卓演習⑪
	12	応用電卓演習⑫
	13	応用電卓演習⑬
	14	応用電卓演習⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	民間企業就業経験のある教員による講義。社会で活躍できる人材育成をテーマに、基本的なビジネスマナーの習得、幅広い分野で役に立つコミュニケーションスキルの習得など、面接試験に必要な知識を身につける。	
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	実社会で通用するビジネスマナー、コミュニケーションスキルの習得、自己PRの作成	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	民間企業で実務経験を持つ職員により企業への内定につながるスキルと入社後に必要となるビジネススキルを演習によって指導する	
授業計画	1	働くとは
	2~3	業界研究
	4~5	企業研究
	6~9	志望動機の作り方
	10	書類送付方法
	11	ビジネス電話
	12	ビジネスメール
	13~15	内定後学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間 (2単位)	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論(基礎編)
	2	収益と費用(基礎編)
	3	棚卸資産(基礎編)
	4	現金預金(基礎編)
	5	債権・債務等(基礎編)
	6	有価証券①(基礎編)
	7	有価証券②(基礎編)
	8	固定資産①(基礎編)
	9	固定資産②(基礎編)
	10	固定資産③(基礎編)
	11	固定資産④(基礎編)
	12	為替換算会計①(基礎編)
	13	為替換算会計②(基礎編)
	14	引当金(基礎編)
	15	法人税等①(基礎編)
	16	法人税等②(基礎編)
	17	株式会社の純資産(基礎編)
	18	企業結合(基礎編)
	19	確認テスト(第1回)
	20	株主資本等変動計算書(基礎編)
	21	連結会計①(基礎編)
	22	連結会計②(基礎編)
	23	連結会計③(基礎編)
	24	連結会計④(基礎編)
	25	連結会計⑤(基礎編)
	26	連結会計⑥(基礎編)
	27	本支店会計(基礎編)
	28	製造業を営む会社の決算処理
	29	伝票と帳簿(基礎編)
	30	確認テスト(第2回)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間 (2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業簿記の基礎(基礎編)</li> <li>2 個別原価計算の手続き(基礎編)</li> <li>3 材料費会計(基礎編)</li> <li>4 労務費会計(基礎編)</li> <li>5 経費会計(基礎編)</li> <li>6 製造間接費会計(基礎編)</li> <li>7 製造間接費差異の原因別分析(基礎編)</li> <li>8 単純個別原価計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>9 単純個別原価計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>10 工企業の財務諸表(基礎編)</li> <li>11 工業簿記総まとめ①(基礎編)</li> <li>12 部門別計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>13 部門別計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>14 確認テスト(第1回)</li> <li>15 工業簿記総まとめ②(基礎編)</li> <li>16 総合原価計算の手続き(基礎編)</li> <li>17 単純総合原価計算(基礎編)</li> <li>18 減損および仕損(基礎編)</li> <li>19 工程別総合原価計算(基礎編)</li> <li>20 組別総合原価計算(基礎編)</li> <li>21 等級別総合原価計算(基礎編)</li> <li>22 標準原価計算Ⅰ(基礎編)</li> <li>23 標準原価計算Ⅱ(基礎編)</li> <li>24 標準原価計算Ⅲ(基礎編)</li> <li>25 工業簿記総まとめ③(基礎編)</li> <li>26 CVP分析Ⅰ(基礎編)</li> <li>27 CVP分析Ⅱ(基礎編)</li> <li>28 直接原価計算(基礎編)</li> <li>29 工業簿記総まとめ④(基礎編)</li> <li>30 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	90時間 (3単位)
授業コマ数	45コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(基礎編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(基礎編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(基礎編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(基礎編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(基礎編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(基礎編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_基礎編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_基礎編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_基礎編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_基礎編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_基礎編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_基礎編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_基礎編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_基礎編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_基礎編) 28 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 29 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 30 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 31 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学速習基礎
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務諸表、有価証券(速習編)</li> <li>2 デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産(速習編)</li> <li>3 割引現在価値(速習編)</li> <li>4 リース取引(速習編)</li> <li>5 研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損(速習編)</li> <li>6 繰延資産(速習編)</li> <li>7 社債(速習編)</li> <li>8 引当金(速習編)</li> <li>9 退職給付(速習編)</li> <li>10 資産除去債務(速習編)</li> <li>11 純資産(速習編)</li> <li>12 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション(速習編)</li> <li>13 税効果会計①(速習編)</li> <li>14 税効果会計②(速習編)</li> <li>15 外貨建取引①(速習編)</li> <li>16 外貨建取引②(速習編)</li> <li>17 商品売買等(速習編)</li> <li>18 本支店会計(速習編)</li> <li>19 連結財務諸表総論、資本連結(速習編)</li> <li>20 成果連結①(速習編)</li> <li>21 成果連結②(速習編)</li> <li>22 持分法、連結税効果会計、包括利益(速習編)</li> <li>23 在外子会社(速習編)</li> <li>24 企業結合(速習編)</li> <li>25 事業分離①(速習編)</li> <li>26 事業分離②(速習編)</li> <li>27 キャッシュフロー計算書①(速習編)</li> <li>28 キャッシュフロー計算書②(速習編)</li> <li>29 連結キャッシュフロー(速習編)</li> <li>30 会計上の変更および誤謬の訂正</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算速習基礎
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短時間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総論(速習編)</li> <li>2 費目別計算(速習編)</li> <li>3 個別原価計算Ⅰ(速習編)</li> <li>4 部門別計算Ⅰ(速習編)</li> <li>5 部門別計算Ⅱ(速習編)</li> <li>6 個別原価計算Ⅱ(速習編)</li> <li>7 総合原価計算Ⅰ(速習編)</li> <li>8 総合原価計算Ⅱ(速習編)</li> <li>9 総合原価計算Ⅲ(速習編)</li> <li>10 総合原価計算Ⅳ(速習編)</li> <li>11 総合原価計算Ⅴ(速習編)</li> <li>12 総合原価計算Ⅵ(速習編)</li> <li>13 標準原価計算Ⅰ(速習編)</li> <li>14 標準原価計算Ⅱ(速習編)</li> <li>15 標準原価計算Ⅲ(速習編)</li> <li>16 標準原価計算Ⅳ(速習編)</li> <li>17 直接原価計算(速習編)</li> <li>18 短期利益計画(速習編)</li> <li>19 予算管理Ⅰ(速習編)</li> <li>20 予算管理Ⅱ(速習編)</li> <li>21 意思決定会計総論(速習編)</li> <li>22 業務的意思決定Ⅰ(速習編)</li> <li>23 業務的意思決定Ⅱ(速習編)</li> <li>24 構造的意意思決定Ⅰ(速習編)</li> <li>25 構造的意意思決定Ⅱ(速習編)</li> <li>26 構造的意意思決定Ⅲ(速習編)</li> <li>27 事業部制Ⅰ(速習編)</li> <li>28 事業部制Ⅱ(速習編)</li> <li>29 戦略的原価計算Ⅰ(速習編)</li> <li>30 戦略的原価計算Ⅱ(速習編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 経理職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 経理職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 経理職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは(一般常識試験)①</li> <li>7 筆記試験とは(一般常識試験)②</li> <li>8 筆記試験とは(適性検査試験)①</li> <li>9 筆記試験とは(適性検査試験)②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務応用 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間関係と話し方・聞き方①</li> <li>2 人間関係と話し方・聞き方②</li> <li>3 人間関係と話し方・聞き方③</li> <li>4 人間関係と話し方・聞き方④</li> <li>5 敬語と接遇用語①</li> <li>6 敬語と接遇用語②</li> <li>7 敬語と接遇用語③</li> <li>8 敬語と接遇用語④</li> <li>9 電話応対①</li> <li>10 電話応対②</li> <li>11 電話応対③</li> <li>12 電話応対④</li> <li>13 来客応対①</li> <li>14 来客応対②</li> <li>15 来客応対③</li> <li>16 交際業務①</li> <li>17 交際業務②</li> <li>18 ビジネス文書の作成①</li> <li>19 ビジネス文書の作成②</li> <li>20 ビジネス文書の作成③</li> <li>21 ビジネス文書の作成④</li> <li>22 文書・資料管理①</li> <li>23 文書・資料管理②</li> <li>24 文書・資料管理③</li> <li>25 日程管理①</li> <li>26 日程管理②</li> <li>27 日程管理③</li> <li>28 日程管理④</li> <li>29 環境整備①</li> <li>30 環境整備②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理実務 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間 (2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①</li> <li>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②</li> <li>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③</li> <li>9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④</li> <li>10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤</li> <li>11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥</li> <li>12 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務①</li> <li>13 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務②</li> <li>14 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務③</li> <li>15 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)①</li> <li>16 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)②</li> <li>17 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)③</li> <li>18 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)①</li> <li>19 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)②</li> <li>20 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)③</li> <li>21 個人住民税の徴収及び納付①</li> <li>22 個人住民税の徴収及び納付②</li> <li>23 印紙税の基礎知識</li> <li>24 受取利息の会計処理</li> <li>25 消費税法の概要①</li> <li>26 消費税法の概要②</li> <li>27 消費税の会計処理</li> <li>28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)①</li> <li>29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)②</li> <li>30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税の基礎知識①</li> <li>2 所得税の基礎知識②</li> <li>3 所得税の基礎知識③</li> <li>4 年末調整のしかた①</li> <li>5 年末調整のしかた②</li> <li>6 年末調整のしかた③</li> <li>7 法定調書の流れ①</li> <li>8 法定調書の流れ②</li> <li>9 法定調書の流れ③</li> <li>10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①</li> <li>11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②</li> <li>12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③</li> <li>13 労働保険の概要及び会計処理①</li> <li>14 労働保険の概要及び会計処理②</li> <li>15 労働保険の概要及び会計処理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容の概要を体系的に学び、帳票書類についての知識の基礎を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム(基礎)</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント(基礎)</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳(基礎)</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳(基礎)</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分(基礎)</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理(基礎)</li> <li>7 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務(基礎)</li> <li>8 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎①)</li> <li>9 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎②)</li> <li>10 個人住民税の徴収及び納付(基礎)</li> <li>11 印紙税の基礎知識(基礎)</li> <li>12 受取利息の会計処理(基礎)</li> <li>13 消費税法の概要(基礎)</li> <li>14 消費税の会計処理(基礎)</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	会計士キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	会計・監査の業務についての理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会計士になるために 1 会計士の仕事内容と試験制度概要</li> <li>2 会計士になるために 2 試験制度の仕組みと学習プラン</li> <li>3 会計士になるために 3 授業内容と授業心得</li> <li>4 会計士になるために 4 短答式試験受験の心構え</li> <li>5 監査法人理解 1 仕事内容 (概要)</li> <li>6 監査法人理解 2 試験勉強と監査法人業務</li> <li>7 将来像を考える 1 法人の仕組み (スタッフの仕事理解)</li> <li>8 将来像を考える 2 法人の仕組み (監査業務内容理解)</li> <li>9 会計士になるために 5 学習プランの再確認</li> <li>10 会計士になるために 6 論文式試験の学習内容理解</li> <li>11 将来像を考える 3 監査法人以外の進路について</li> <li>12 就職準備 1 (ESの書き方)</li> <li>13 就職準備 2 (監査法人の調べ方)</li> <li>14 就職準備 3 (よくある質問対策)</li> <li>15 会計士になるために 7 論文式試験受験の心構え</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題 (初級編)① 2 記述式基礎問題 (初級編)② 3 記述式基礎問題 (初級編)③ 4 記述式基礎問題 (初級編)④ 5 記述式基礎問題 (初級編)⑤ 6 記述式基礎問題 (初級編)⑥ 7 記述式基礎問題 (初級編)⑦ 8 記述式基礎問題 (初級編)⑧ 9 記述式基礎問題 (初級編)⑨ 10 記述式基礎問題 (初級編)⑩ 11 記述式基礎問題 (初級編)⑪ 12 記述式基礎問題 (初級編)⑫ 13 記述式基礎問題 (初級編)⑬ 14 記述式基礎問題 (初級編)⑭ 15 記述式基礎問題 (初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 監査とは</li> <li>2 監査の分類</li> <li>3 公認会計士の監査領域</li> <li>4 財務諸表の監査の必要性</li> <li>5 財務諸表の監査の機能</li> <li>6 監査の固有の限界</li> <li>7 二重責任の原則</li> <li>8 財務諸表の作成責任</li> <li>9 財務諸表の作成基準</li> <li>10 監査人</li> <li>11 監査業務の一年の流れ</li> <li>12 財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠</li> <li>13 監査手続き(監査技術)</li> <li>14 リスク・アプローチ</li> <li>15 リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 IT(情報技術)</li> <li>2 監査契約に係る予備的な活動</li> <li>3 監査計画</li> <li>4 監査証拠の入手方法</li> <li>5 監査上の重要性</li> <li>6 特別な検討を必要とするリスク</li> <li>7 関連当事者との関係及び取引</li> <li>8 会計上の見積り</li> <li>9 財務諸表監査における不正の検討</li> <li>10 監査における不正リスク対応基準</li> <li>11 財務諸表監査における法令の検討</li> <li>12 グループ監査</li> <li>13 内部監査の利用</li> <li>14 専門家の業務の利用</li> <li>15 監査証拠の十分性と適切性の評価</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 監査の品質管理</li> <li>2 監査人の交代(監査事務所間の交代)</li> <li>3 監査役等とのコミュニケーション</li> <li>4 内部統制の不備に関するコミュニケーション</li> <li>5 監査調書</li> <li>6 監査意見の内容</li> <li>7 財務諸表の適正性</li> <li>8 監査報告書</li> <li>9 無限定適正意見の場合</li> <li>10 除外事項付意見の場合</li> <li>11 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見</li> <li>12 追記情報の意義</li> <li>13 追記情報と保証機能</li> <li>14 比較情報</li> <li>15 監査上の主要な検討事項</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題 (初級編)① 2 記述式基礎問題 (初級編)② 3 記述式基礎問題 (初級編)③ 4 記述式基礎問題 (初級編)④ 5 記述式基礎問題 (初級編)⑤ 6 記述式基礎問題 (初級編)⑥ 7 記述式基礎問題 (初級編)⑦ 8 記述式基礎問題 (初級編)⑧ 9 記述式基礎問題 (初級編)⑨ 10 記述式基礎問題 (初級編)⑩ 11 記述式基礎問題 (初級編)⑪ 12 記述式基礎問題 (初級編)⑫ 13 記述式基礎問題 (初級編)⑬ 14 記述式基礎問題 (初級編)⑭ 15 記述式基礎問題 (初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 管理会計論総論</li> <li>2 管理会計論の範囲</li> <li>3 原価計算の本質・意義</li> <li>4 原価計算の基本思考</li> <li>5 原価計算の目的</li> <li>6 費目別計算総論</li> <li>7 原価の分類</li> <li>8 材料費の計算</li> <li>9 材料費の分類</li> <li>10 労務費の計算</li> <li>11 労務費の計算</li> <li>12 経費の計算</li> <li>13 経費の分類</li> <li>14 製造間接費の計算</li> <li>15 製造間接費と配賦計算</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科(2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 配賦基準</li> <li>2 製造間接費の実際配賦</li> <li>3 製造間接費の予定配賦</li> <li>4 製造間接費予算</li> <li>5 配賦差異の算定</li> <li>6 固定予算</li> <li>7 公式法変動予算</li> <li>8 実査法変動予算</li> <li>9 部門別計算の意義・目的</li> <li>10 原価部門の設定</li> <li>11 実際配賦(第1次集計)</li> <li>12 実際配賦(第2次集計)</li> <li>13 実際配賦(第3次集計)</li> <li>14 予定配賦</li> <li>15 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定</li> <li>16 製造部門費配賦差異の算定</li> <li>17 補助部門費の配賦</li> <li>18 配賦基準(単一基準配賦法)</li> <li>19 配賦基準(複数基準配賦法)</li> <li>20 配賦金額(実際発生額)</li> <li>21 配賦金額(予定配賦額)</li> <li>22 配賦金額(予算許容額)</li> <li>23 個別原価計算総論</li> <li>24 製造指図書と原価計算表</li> <li>25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分</li> <li>26 単純個別原価計算</li> <li>27 ロット別個別原価計算</li> <li>28 部門別個別原価計算の意義</li> <li>29 個別原価計算における仕損の処理①</li> <li>30 個別原価計算における仕損の処理②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科(2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総合原価計算総論</li> <li>2 総合原価計算</li> <li>3 直接材料費と加工費</li> <li>4 仕掛品の完成品換算</li> <li>5 総合原価計算の種類</li> <li>6 単純総合原価計算(単純総合原価計算の意義)</li> <li>7 単純総合原価計算(月末仕掛費の評価方法)</li> <li>8 単純総合原価計算(正常仕損・正常減損の処理)</li> <li>9 単純総合原価計算(副産物・作業屑の処理)</li> <li>10 単純総合原価計算(異常仕損(減損)の処理)</li> <li>11 工程別総合原価計算の処理</li> <li>12 工程別計算の計算手順(累加法)</li> <li>13 工程別計算の計算手順(通常計算方式の非累加法)</li> <li>14 予定振替原価の利用</li> <li>15 追加原材料の意義</li> <li>16 追加原材料(増量しない場合)</li> <li>17 組別総合原価計算の意義</li> <li>18 組別総合原価計算の手続</li> <li>19 等級別総合原価計算の意義</li> <li>20 完成品原価按分法(単純総合原価計算に近い方法)</li> <li>21 当月製造費用按分法(組別総合原価計算に近い方法)</li> <li>22 連産品</li> <li>23 連結原価(結合原価)の按分</li> <li>24 連産品を副産物とみなす場合の計算</li> <li>25 連結原価(結合原価)を按分する理由</li> <li>26 授業内演習①</li> <li>27 授業内演習②</li> <li>28 授業内演習③</li> <li>29 授業内演習④</li> <li>30 授業内演習⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題(初級編)① 2 計算基礎問題(初級編)② 3 計算基礎問題(初級編)③ 4 計算基礎問題(初級編)④ 5 計算基礎問題(初級編)⑤ 6 計算基礎問題(初級編)⑥ 7 計算基礎問題(初級編)⑦ 8 計算基礎問題(初級編)⑧ 9 計算基礎問題(初級編)⑨ 10 計算基礎問題(初級編)⑩ 11 計算基礎問題(初級編)⑪ 12 計算基礎問題(初級編)⑫ 13 計算基礎問題(初級編)⑬ 14 計算基礎問題(初級編)⑭ 15 計算基礎問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題 (初級編)① 2 記述式基礎問題 (初級編)② 3 記述式基礎問題 (初級編)③ 4 記述式基礎問題 (初級編)④ 5 記述式基礎問題 (初級編)⑤ 6 記述式基礎問題 (初級編)⑥ 7 記述式基礎問題 (初級編)⑦ 8 記述式基礎問題 (初級編)⑧ 9 記述式基礎問題 (初級編)⑨ 10 記述式基礎問題 (初級編)⑩ 11 記述式基礎問題 (初級編)⑪ 12 記述式基礎問題 (初級編)⑫ 13 記述式基礎問題 (初級編)⑬ 14 記述式基礎問題 (初級編)⑭ 15 記述式基礎問題 (初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個人企業と共同作業</li> <li>2 会社の概念</li> <li>3 法人性に関する諸問題</li> <li>4 4種類の会社</li> <li>5 株式会社の分類</li> <li>6 株式会社の本質的特徴</li> <li>7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度</li> <li>8 本質的特徴から導かれる重要な制度</li> <li>9 会社設立に関する立法主義</li> <li>10 株式会社の設立手続きの流れ</li> <li>11 株式会社の設立の方法</li> <li>12 発起人の意義</li> <li>13 発起人の資格</li> <li>14 発起人の数</li> <li>15 定款の意義</li> <li>16 定款の作成</li> <li>17 定款の記載・記録事項</li> <li>18 定款の備置き、閲覧・謄写</li> <li>19 発起設立</li> <li>20 募集設立</li> <li>21 設立登記の手続き</li> <li>22 設立登記の効力</li> <li>23 変態設立事項に関する規制(規制の概要)</li> <li>24 変態設立事項に関する規制(現物出資)</li> <li>25 変態設立事項に関する規制(財産引受け)</li> <li>26 変態設立事項に関する規制(発起人の報酬)</li> <li>27 変態設立事項に関する規制(設立費用)</li> <li>28 設立無効の意義</li> <li>29 設立無効原因</li> <li>30 設立無効の訴えの制度</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 株式の意義等</li> <li>2 株主の権利・義務</li> <li>3 株主平等原則</li> <li>4 株式の譲渡</li> <li>5 自己株式の取得・処分等の制限</li> <li>6 子会社による親会社株式の取得</li> <li>7 株券</li> <li>8 株主名簿</li> <li>9 株式担保</li> <li>10 株式振替制度</li> <li>11 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却</li> <li>12 端数の処理</li> <li>13 単元株制度</li> <li>14 株主等売渡請求の概要</li> <li>15 株主等売渡請求の手続き</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総説―株式会社の機関設計</li> <li>2 公開会社の機関構造の特色</li> <li>3 株主総会</li> <li>4 取締役</li> <li>5 善管注意義務と忠実義務</li> <li>6 競業禁止義務</li> <li>7 利益相反取引</li> <li>8 取締役の責任</li> <li>9 取締役の第三者に対する責任</li> <li>10 取締役会の意義・設置</li> <li>11 取締役会の権限</li> <li>12 代表取締役</li> <li>13 監査役</li> <li>14 監査役会</li> <li>15 会計参与</li> <li>16 会計監査人</li> <li>17 指名委員会等設置会社</li> <li>18 監査等委員会設置会社</li> <li>19 募集株式の発行等</li> <li>20 募集事項の決定</li> <li>21 募集事項の決定</li> <li>22 出資の履行等</li> <li>23 募集株式の発行等の効力発生等</li> <li>24 新株予約権</li> <li>25 社債の意義</li> <li>26 社債と株式の異同</li> <li>27 社債の発行</li> <li>28 社債の管理</li> <li>29 社債の譲渡</li> <li>30 利息の支払・償還</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題(初級編)① 2 記述式基礎問題(初級編)② 3 記述式基礎問題(初級編)③ 4 記述式基礎問題(初級編)④ 5 記述式基礎問題(初級編)⑤ 6 記述式基礎問題(初級編)⑥ 7 記述式基礎問題(初級編)⑦ 8 記述式基礎問題(初級編)⑧ 9 記述式基礎問題(初級編)⑨ 10 記述式基礎問題(初級編)⑩ 11 記述式基礎問題(初級編)⑪ 12 記述式基礎問題(初級編)⑫ 13 記述式基礎問題(初級編)⑬ 14 記述式基礎問題(初級編)⑭ 15 記述式基礎問題(初級編)⑮ 16 記述式基礎問題(初級編)⑯ 17 記述式基礎問題(初級編)⑰ 18 記述式基礎問題(初級編)⑱ 19 記述式基礎問題(初級編)⑲ 20 記述式基礎問題(初級編)⑳ 21 記述式基礎問題(初級編)㉑ 22 記述式基礎問題(初級編)㉒ 23 記述式基礎問題(初級編)㉓ 24 記述式基礎問題(初級編)㉔ 25 記述式基礎問題(初級編)㉕ 26 記述式基礎問題(初級編)㉖ 27 記述式基礎問題(初級編)㉗ 28 記述式基礎問題(初級編)㉘ 29 記述式基礎問題(初級編)㉙ 30 記述式基礎問題(初級編)㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会計の意義</li> <li>2 資本循環と財務諸表</li> <li>3 財務会計と管理会計</li> <li>4 会計責任説と利害調整機能</li> <li>5 意思決定有用性説と情報提供機能</li> <li>6 利益の性格と財務会計の機能</li> <li>7 会社法会計</li> <li>8 金融商品取引法会計</li> <li>9 単体開示の簡素化</li> <li>10 企業会計原則</li> <li>11 企業会計基準</li> <li>12 会計基準の国際的コンバージェンス</li> <li>13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い</li> <li>14 米国基準の任意適用</li> <li>15 原則主義と細則主義</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会計基準を設定するアプローチ</li> <li>2 概念フレームワークの公表</li> <li>3 財務報告の目的</li> <li>4 会計情報の質的特性</li> <li>5 財務諸表の構成要素</li> <li>6 財務諸表における認識と測定</li> <li>7 実現主義</li> <li>8 発生主義</li> <li>9 費用収益対応の原則</li> <li>10 収支額基準</li> <li>11 実現可能性基準</li> <li>12 原価主義</li> <li>13 時価主義</li> <li>14 割引原価主義</li> <li>15 費用配分の原則</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商品売買総論</li> <li>2 商品売買の記帳方法</li> <li>3 商品有高帳の記帳</li> <li>4 返品・値引・割戻の処理</li> <li>5 割引の処理</li> <li>6 原価率等</li> <li>7 仕入諸掛り・販売諸掛りの処理</li> <li>8 他勘定振替高</li> <li>9 棚卸資産の範囲</li> <li>10 棚卸資産の期末評価</li> <li>11 棚卸減耗損</li> <li>12 商品評価損</li> <li>13 売価還元法</li> <li>14 トレーディング目的で保有する棚卸資産</li> <li>15 巻末総合問題演習</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科(2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現金</li> <li>2 当座預金</li> <li>3 割引現在価値の概要</li> <li>4 現価係数</li> <li>5 年金現価係数</li> <li>6 売掛金・買掛金</li> <li>7 その他の債権・債務</li> <li>8 前払費用</li> <li>9 未払費用</li> <li>10 前受収益</li> <li>11 未収収益</li> <li>12 手形総論</li> <li>13 約束手形</li> <li>14 為替手形と偶発債務</li> <li>15 手形の裏書譲渡</li> <li>16 手形の割引</li> <li>17 不渡手形</li> <li>18 手形の更改</li> <li>19 営業外手形</li> <li>20 金融手形(手形借入金・手形貸付金)</li> <li>21 売上債権に含まれる金利部分の会計処理</li> <li>22 貸倒損失</li> <li>23 貸倒引当金の設定</li> <li>24 貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し</li> <li>25 貸倒れ処理済債権の回収</li> <li>26 手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入</li> <li>27 相殺適状</li> <li>28 貸倒見積高の算定(一般債権)</li> <li>29 貸倒見積高の算定(貸倒懸念債権)</li> <li>30 貸倒見積高の算定(破産更生債権等)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題（初級編）① 5 個別基礎問題（初級編）② 6 個別基礎問題（初級編）③ 7 個別基礎問題（初級編）④ 8 個別基礎問題（初級編）⑤ 9 個別基礎問題（初級編）⑥ 10 個別基礎問題（初級編）⑦ 11 個別基礎問題（初級編）⑧ 12 個別基礎問題（初級編）⑨ 13 個別基礎問題（初級編）⑩ 14 個別基礎問題（初級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 有価証券総論 2 株式に係る期中処理 3 公社債に係る期中処理 4 有価証券の分類と評価 5 親会社株式 6 約定日基準 7 修正受渡日基準 8 デリバティブ取引の概要 9 先物取引 10 オプション取引 11 スワップ取引 12 ヘッジ会計の概要 13 繰延ヘッジ 14 時価ヘッジ 15 債権譲渡 16 ローン・パーティシペーション 17 デット・アサンプション 18 デット・エクイティ・スワップ 19 ゴルフ会員権 20 有形固定資産総論 21 取得原価の決定(購入) 22 取得原価の決定(時価建設) 23 取得原価の決定(現物出資)	24 取得原価の決定(交換) 25 取得原価の決定(贈与) 26 減価償却の概要 27 減価償却(定額法) 28 減価償却(旧定率法) 29 減価償却(200%定率法) 30 減価償却(250%定額法) 31 減価償却(級数法) 32 減価償却(生産高比例法) 33 資本的支出と収益的支出 34 総合償却 35 売却 36 除却 37 下取り買替え 38 圧縮記帳(直接減額方式) 39 臨時損失 40 保険差益 41 特別目的会社を活用した不動産の流動化 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題 (初級編)① 2 計算基礎問題 (初級編)② 3 計算基礎問題 (初級編)③ 4 計算基礎問題 (初級編)④ 5 計算基礎問題 (初級編)⑤ 6 計算基礎問題 (初級編)⑥ 7 計算基礎問題 (初級編)⑦ 8 計算基礎問題 (初級編)⑧ 9 計算基礎問題 (初級編)⑨ 10 計算基礎問題 (初級編)⑩ 11 計算基礎問題 (初級編)⑪ 12 計算基礎問題 (初級編)⑫ 13 計算基礎問題 (初級編)⑬ 14 計算基礎問題 (初級編)⑭ 15 計算基礎問題 (初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)①</li> <li>2 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)①</li> <li>3 管理会計 択一式応用問題(初級編)①</li> <li>4 企業法 択一式応用問題(初級編)①</li> <li>5 監査論 択一式応用問題(初級編)①</li> <li>6 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)②</li> <li>7 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)②</li> <li>8 管理会計 択一式応用問題(初級編)②</li> <li>9 企業法 択一式応用問題(初級編)②</li> <li>10 監査論 択一式応用問題(初級編)②</li> <li>11 財務会計(計算) 択一式応用問題(初級編)③</li> <li>12 財務会計(理論) 択一式応用問題(初級編)③</li> <li>13 管理会計 択一式応用問題(初級編)③</li> <li>14 企業法 択一式応用問題(初級編)③</li> <li>15 監査論 択一式応用問題(初級編)③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題(初級編)① 2 記述式基礎問題(初級編)② 3 記述式基礎問題(初級編)③ 4 記述式基礎問題(初級編)④ 5 記述式基礎問題(初級編)⑤ 6 記述式基礎問題(初級編)⑥ 7 記述式基礎問題(初級編)⑦ 8 記述式基礎問題(初級編)⑧ 9 記述式基礎問題(初級編)⑨ 10 記述式基礎問題(初級編)⑩ 11 記述式基礎問題(初級編)⑪ 12 記述式基礎問題(初級編)⑫ 13 記述式基礎問題(初級編)⑬ 14 記述式基礎問題(初級編)⑭ 15 記述式基礎問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学入門 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 投資理論の基礎知識</li> <li>2 最適なポートフォリオの選択</li> <li>3 資本資産評価モデル:CAPM(キャップエム)</li> <li>4 債券評価</li> <li>5 裁定取引と効率的市場</li> <li>6 マルチファクターモデルと行動ファイナンス</li> <li>7 企業財務論の目的</li> <li>8 資本コスト</li> <li>9 最適資本構成</li> <li>10 プロジェクトの評価</li> <li>11 配当政策(ペイアウト政策その1)</li> <li>12 自社株買い(ペイアウト政策その2)</li> <li>13 財務情報分析</li> <li>14 M&amp;Aにおける企業価値評価</li> <li>15 企業価値評価(バリエーション)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題(初級編)① 2 記述式基礎問題(初級編)② 3 記述式基礎問題(初級編)③ 4 記述式基礎問題(初級編)④ 5 記述式基礎問題(初級編)⑤ 6 記述式基礎問題(初級編)⑥ 7 記述式基礎問題(初級編)⑦ 8 記述式基礎問題(初級編)⑧ 9 記述式基礎問題(初級編)⑨ 10 記述式基礎問題(初級編)⑩ 11 記述式基礎問題(初級編)⑪ 12 記述式基礎問題(初級編)⑫ 13 記述式基礎問題(初級編)⑬ 14 記述式基礎問題(初級編)⑭ 15 記述式基礎問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法入門 I
実務家教員	○
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	法人税法基礎知識並びに納税額を算出する流れを中心的に学ぶ
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実務事例における納税額の算出方法を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者により、各テーマ別に実際のケースを例に用い基本的計算の講義を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法人税法総則・課税標準</li> <li>2 交際費等の損金不算入(概要・計算構造)</li> <li>3 減価償却(普通償却)</li> <li>4 租税公課及び納税充当金</li> <li>5 受取配当等の益金不算入</li> <li>6 繰延資産(概要)</li> <li>7 金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入</li> <li>8 有価証券</li> <li>9 所得税額控除(原則法)</li> <li>10 寄附金の損金不算入</li> <li>11 減価償却(特別償却・概要)</li> <li>12 特別償却準備金</li> <li>13 リース取引</li> <li>14 評価損益</li> <li>15 講義内演習・確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税法の概要</li> <li>2 各種所得と各種所得の金額の計算(総測)</li> <li>3 減価償却</li> <li>4 課税標準・課税所得金額の計算</li> <li>5 所得控除額の計算</li> <li>6 納税税額の計算(総則)</li> <li>7 申告・納付</li> <li>8 源泉徴収</li> <li>9 有価証券に係る課税の特例</li> <li>10 消費税法の概要</li> <li>11 課税の対象</li> <li>12 非課税</li> <li>13 輸出免税等</li> <li>14 課税標準</li> <li>15 講義内演習・確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	監査論応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務諸表監査総論</li> <li>2 意見表明の対象である財務諸表</li> <li>3 監査主体論、監査基準論</li> <li>4 監査人</li> <li>5 職業倫理(監査人に要求される条件)</li> <li>6 専門能力及び知識</li> <li>7 主要勘定と帳簿、証拠等の例</li> <li>8 アサーション</li> <li>9 監査技術 監査証拠</li> <li>10 監査技術 閲覧</li> <li>11 監査技術 帳簿突合</li> <li>12 監査技術 証憑突合</li> <li>13 監査技術 実査</li> <li>14 監査技術 観察</li> <li>15 監査技術 再計算</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	監査論直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 継続企業の前提とは</li> <li>2 継続企業の前提に関する経営者の対応</li> <li>3 継続企業の前提に対する監査人の対応</li> <li>4 中間監査総論</li> <li>5 四半期レビュー制度</li> <li>6 特別目的会社の財務諸表の監査</li> <li>7 内部統制報告制度概要</li> <li>8 会計監査人監査制度概要</li> <li>9 金融商品取引法による企業内容開示制度</li> <li>10 公認会計士法</li> <li>11 公認会計士制度の創設・発足</li> <li>12 倫理規則の趣旨及び精神</li> <li>13 保証業務概論</li> <li>14 保証業務の位置付け</li> <li>15 公認会計士制度の創設・発足</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論応用演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題(初級編)① 2 記述式応用問題(初級編)② 3 記述式応用問題(初級編)③ 4 記述式応用問題(初級編)④ 5 記述式応用問題(初級編)⑤ 6 記述式応用問題(初級編)⑥ 7 記述式応用問題(初級編)⑦ 8 記述式応用問題(初級編)⑧ 9 記述式応用問題(初級編)⑨ 10 記述式応用問題(初級編)⑩ 11 記述式応用問題(初級編)⑪ 12 記述式応用問題(初級編)⑫ 13 記述式応用問題(初級編)⑬ 14 記述式応用問題(初級編)⑭ 15 記述式応用問題(初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間 (2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 短期利益計画のための管理会計</li> <li>2 短期利益計画の基礎</li> <li>3 利益計画の意義</li> <li>4 中期経営計画と短期利益計画</li> <li>5 短期利益計画のプロセス</li> <li>6 CVP分析(Cost-Volume-Profit Analysis)</li> <li>7 CVP分析の意義</li> <li>8 原価・営業量・利益の関係</li> <li>9 CVP分析の仮定</li> <li>10 損益分岐点売上高(販売量)の算定</li> <li>11 希望(目標)営業利益を達成する売上高(販売量)の算定</li> <li>12 希望(目標)売上高営業利益率をあげる売上高</li> <li>13 損益分岐図表・限界利益図表</li> <li>14 安全(余裕)率・損益分岐点比率</li> <li>15 経営レバレッジ係数</li> <li>16 多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析</li> <li>17 多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成</li> <li>18 CVP感度分析</li> <li>19 営業外損益の取り扱い</li> <li>20 全部原価計算の損益分岐分析</li> <li>21 CVPC分析</li> <li>22 原価分解の必要性</li> <li>23 原価態様(コスト・ビヘイビア)に基づく原価分類</li> <li>24 原価分解の方法</li> <li>25 直接原価計算の基礎</li> <li>26 直接原価計算の意義</li> <li>27 直接原価計算の特徴</li> <li>28 直接原価計算の有用性</li> <li>29 全部原価計算との関係</li> <li>30 授業内演習及び確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論計算特訓 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 材料費会計</li> <li>2 労務費会計</li> <li>3 経費会計</li> <li>4 製造間接費会計</li> <li>5 部門別計算</li> <li>6 個別原価計算</li> <li>7 部門別個別原価計算</li> <li>8 総合原価計算①</li> <li>9 総合原価計算②</li> <li>10 総合原価計算③</li> <li>11 総合原価計算④</li> <li>12 標準原価計算①</li> <li>13 標準原価計算②</li> <li>14 標準原価計算③</li> <li>15 授業内演習及び確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 標準原価計算総論</li> <li>2 標準原価計算の目的</li> <li>3 標準原価の種類</li> <li>4 標準原価計算制度の手続</li> <li>5 製品原価の計算</li> <li>6 原価差異の計算</li> <li>7 原価差異の原因分析</li> <li>8 原価差異の把握方法</li> <li>9 標準原価計算の記帳方法</li> <li>10 原価差異の会計処理</li> <li>11 仕損・減損が生じる場合(終点発生)</li> <li>12 仕損・減損が生じる場合(始点発生)</li> <li>13 仕損・減損が生じる場合(途中一定点発生)</li> <li>14 管理会計の意義</li> <li>15 財務会計と管理会計の相違</li> <li>16 管理会計の体系</li> <li>17 財務情報分析</li> <li>18 財務情報分析の意義</li> <li>19 財務情報分析の種類</li> <li>20 収益性分析</li> <li>21 投下資本利益率</li> <li>22 投下資本利益率の分解</li> <li>23 安全性分析</li> <li>24 短期財務安全性分析</li> <li>25 長期財務安全性分析</li> <li>26 キャッシュフロー分析</li> <li>27 授業内演習①</li> <li>28 授業内演習②</li> <li>29 授業内演習③</li> <li>30 授業内演習④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題（初級編）① 2 計算総合問題（初級編）② 3 計算総合問題（初級編）③ 4 計算総合問題（初級編）④ 5 計算総合問題（初級編）⑤ 6 計算総合問題（初級編）⑥ 7 計算総合問題（初級編）⑦ 8 計算総合問題（初級編）⑧ 9 計算総合問題（初級編）⑨ 10 計算総合問題（初級編）⑩ 11 計算総合問題（初級編）⑪ 12 計算総合問題（初級編）⑫ 13 計算総合問題（初級編）⑬ 14 計算総合問題（初級編）⑭ 15 計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法応用演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会社の概念</li> <li>2 会社の種類</li> <li>3 株式会社の概念</li> <li>4 会社設立</li> <li>5 発起人</li> <li>6 定款の作成</li> <li>7 発起設立と募集設立</li> <li>8 変態設立事項に関する規制</li> <li>9 設立登記</li> <li>10 設立関与者の責任</li> <li>11 設立の瑕疵</li> <li>12 株式の意義</li> <li>13 株式不可分の原則</li> <li>14 株主の権利・義務の意義</li> <li>15 株主の権利に関する規定</li> <li>16 株主平等原則の意義</li> <li>17 株主平等原則の趣旨・効果</li> <li>18 株主平等原則の例外</li> <li>19 株式譲渡自由の原則</li> <li>20 自己株式取得規制の概要</li> <li>21 子会社による親会社株式の取得</li> <li>22 株券の意義</li> <li>23 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件</li> <li>24 株主名簿の意義等</li> <li>25 名義書換制度</li> <li>26 株式の担保化</li> <li>27 株式振替制度の意義</li> <li>28 端数が生ずる場合</li> <li>29 単元株制度の意義</li> <li>30 株式等売渡請求の概要</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	企業法直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 計算書類その他</li> <li>2 資本金・準備金・剰余金</li> <li>3 剰余金の配当</li> <li>4 定款変更の意義</li> <li>5 定款変更の手続</li> <li>6 発行可能株式総数</li> <li>7 事業譲渡等</li> <li>8 組織再編 総説</li> <li>9 組織変更</li> <li>10 合併 総説</li> <li>11 会社分割 総説</li> <li>12 株式交換・株式移転 総説</li> <li>13 持分法会社の組織再編</li> <li>14 会社の清算</li> <li>15 持分会社</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論応用演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮ 16 記述式応用問題（初級編）⑯ 17 記述式応用問題（初級編）⑰ 18 記述式応用問題（初級編）⑱ 19 記述式応用問題（初級編）⑲ 20 記述式応用問題（初級編）⑳ 21 記述式応用問題（初級編）㉑ 22 記述式応用問題（初級編）㉒ 23 記述式応用問題（初級編）㉓ 24 記述式応用問題（初級編）㉔ 25 記述式応用問題（初級編）㉕ 26 記述式応用問題（初級編）㉖ 27 記述式応用問題（初級編）㉗ 28 記述式応用問題（初級編）㉘ 29 記述式応用問題（初級編）㉙ 30 記述式応用問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 製品保証引当金</li> <li>2 売上割戻引当金</li> <li>3 返品調整引当金</li> <li>4 修繕引当金</li> <li>5 資産除去債務の範囲</li> <li>6 資産除去債務の会計処理</li> <li>7 資産除去債務の開示</li> <li>8 株主資本の分類</li> <li>9 資本金</li> <li>10 資本剰余金</li> <li>11 利益剰余金</li> <li>12 自己株式</li> <li>13 資本金および準備金の額の減少</li> <li>14 資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止</li> <li>15 剰余金の配当等</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 通常の販売目的で保有する棚卸資産</li> <li>2 トレーディング目的で保有する棚卸資産</li> <li>3 売価還元法と最終仕入原価法</li> <li>4 固定資産の取得原価の決定</li> <li>5 資本的支出と収益的支出</li> <li>6 減価償却</li> <li>7 個別償却と総合償却</li> <li>8 減耗償却と取替法</li> <li>9 圧縮記帳</li> <li>10 株式交付費</li> <li>11 社債発行費等</li> <li>12 創立費</li> <li>13 開業費</li> <li>14 開発費</li> <li>15 支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論直前演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 記述式総合問題（初級編）①</li> <li>2 記述式総合問題（初級編）②</li> <li>3 記述式総合問題（初級編）③</li> <li>4 記述式総合問題（初級編）④</li> <li>5 記述式総合問題（初級編）⑤</li> <li>6 記述式総合問題（初級編）⑥</li> <li>7 記述式総合問題（初級編）⑦</li> <li>8 記述式総合問題（初級編）⑧</li> <li>9 記述式総合問題（初級編）⑨</li> <li>10 記述式総合問題（初級編）⑩</li> <li>11 記述式総合問題（初級編）⑪</li> <li>12 記述式総合問題（初級編）⑫</li> <li>13 記述式総合問題（初級編）⑬</li> <li>14 記述式総合問題（初級編）⑭</li> <li>15 記述式総合問題（初級編）⑮</li> <li>16 記述式総合問題（初級編）⑯</li> <li>17 記述式総合問題（初級編）⑰</li> <li>18 記述式総合問題（初級編）⑱</li> <li>19 記述式総合問題（初級編）⑲</li> <li>20 記述式総合問題（初級編）⑳</li> <li>21 記述式総合問題（初級編）㉑</li> <li>22 記述式総合問題（初級編）㉒</li> <li>23 記述式総合問題（初級編）㉓</li> <li>24 記述式総合問題（初級編）㉔</li> <li>25 記述式総合問題（初級編）㉕</li> <li>26 記述式総合問題（初級編）㉖</li> <li>27 記述式総合問題（初級編）㉗</li> <li>28 記述式総合問題（初級編）㉘</li> <li>29 記述式総合問題（初級編）㉙</li> <li>30 記述式総合問題（初級編）㉚</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間 (2単位)
授業コマ数	30コマ
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 純資産会計総論</li> <li>2 株式の発行</li> <li>3 剰余金の配当</li> <li>4 計数の変動</li> <li>5 剰余金の処分</li> <li>6 自己株式</li> <li>7 分配可能額の算定①</li> <li>8 分配可能額の算定②</li> <li>9 株主資本等変動計算書</li> <li>10 新株予約権総論</li> <li>11 新株予約権の会計処理(発行者側)</li> <li>12 自己新株予約権</li> <li>13 新株予約権の開示</li> <li>14 新株予約権の会計処理(取得者側)</li> <li>15 新株予約権付社債(総論)</li> <li>16 新株予約権付社債の会計処理(発行者側)①</li> <li>17 新株予約権付社債の会計処理(発行者側)②</li> <li>18 新株予約権付社債の会計処理(取得者側)①</li> <li>19 新株予約権付社債の会計処理(取得者側)②</li> <li>20 ストック・オプション(総論)</li> <li>21 権利不確定による失効</li> <li>22 対象勤務期間</li> <li>23 段階的に権利行使が可能となる場合</li> <li>24 公正な評価単価の変動</li> <li>25 ストック・オプション数の変動</li> <li>26 費用の計上期間を変動させる条件変更</li> <li>27 法人税</li> <li>28 事業税</li> <li>29 消費税</li> <li>30 その他税金</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記計算特訓 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 確定給付企業年金制度（一連の会計処理）</li> <li>2 確定給付企業年金制度（従業員拠出）</li> <li>3 確定給付企業年金制度（数理計算上の差異）</li> <li>4 確定給付企業年金制度（過去勤務費用）</li> <li>5 確定給付企業年金制度（年金資産の返還）</li> <li>6 確定給付企業年金制度（退職給付信託）</li> <li>7 確定拠出企業年金制度</li> <li>8 退職給付制度の終了</li> <li>9 資産除去債務総論</li> <li>10 見積りの変更（見積額が増加する場合）</li> <li>11 見積りの変更（見積額が増加する場合）</li> <li>12 資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法）</li> <li>13 資産除去債務が複数の資産から構成される場合</li> <li>14 巻末総合問題演習①</li> <li>15 巻末総合問題演習②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門V
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リース取引総論</li> <li>2 オペレーティング・リース</li> <li>3 所有権移転ファイナンス・リース</li> <li>4 所有権移転ファイナンス・リース(割安購入選択権)</li> <li>5 所有権移転外ファイナンス・リース</li> <li>6 所有権移転外ファイナンス・リース(残価保証)</li> <li>7 維持管理費相当額</li> <li>8 リース料の前払い</li> <li>9 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理①)</li> <li>10 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理②)</li> <li>11 ファイナンス・リース取引(貸手の会計処理③)</li> <li>12 セール・アンド・リースバック取引</li> <li>13 転リース取引</li> <li>14 無形固定資産総論</li> <li>15 のれん</li> <li>16 研究開発費</li> <li>17 市場販売目的のソフトウェア</li> <li>18 自社利用目的のソフトウェア</li> <li>19 投資その他の資産</li> <li>20 固定資産の減損総論</li> <li>21 減損損失の判定と測定</li> <li>22 将来キャッシュ・フローの見積</li> <li>23 共用資産の減損</li> <li>24 のれんの減損</li> <li>25 繰延資産</li> <li>26 社債総論</li> <li>27 買入償還(定額法)</li> <li>28 買入償還(利息法)</li> <li>29 巻末総合問題演習①</li> <li>30 巻末総合問題演習②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題（初級編）① 2 計算総合問題（初級編）② 3 計算総合問題（初級編）③ 4 計算総合問題（初級編）④ 5 計算総合問題（初級編）⑤ 6 計算総合問題（初級編）⑥ 7 計算総合問題（初級編）⑦ 8 計算総合問題（初級編）⑧ 9 計算総合問題（初級編）⑨ 10 計算総合問題（初級編）⑩ 11 計算総合問題（初級編）⑪ 12 計算総合問題（初級編）⑫ 13 計算総合問題（初級編）⑬ 14 計算総合問題（初級編）⑭ 15 計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	財務諸表監査の基礎知識並びに意見表明を出すまでの流れを中心に学ぶ
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実務事例における監査手続きを理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者により、理解を深めることを目的に実務での例示を用い演習する。
授業計画	1 財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)① 2 財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)① 3 管理会計 択一式総合問題(初級編)① 4 企業法 択一式総合問題(初級編)① 5 監査論 択一式総合問題(初級編)① 6 財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)② 7 財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)② 8 管理会計 択一式総合問題(初級編)② 9 企業法 択一式総合問題(初級編)② 10 監査論 択一式総合問題(初級編)② 11 財務会計(計算) 択一式総合問題(初級編)③ 12 財務会計(理論) 択一式総合問題(初級編)③ 13 管理会計 択一式総合問題(初級編)③ 14 企業法 択一式総合問題(初級編)③ 15 監査論 択一式総合問題(初級編)③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営学応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間 (1単位)	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題 (初級編)①
	2	記述式応用問題 (初級編)②
	3	記述式応用問題 (初級編)③
	4	記述式応用問題 (初級編)④
	5	記述式応用問題 (初級編)⑤
	6	記述式応用問題 (初級編)⑥
	7	記述式応用問題 (初級編)⑦
	8	記述式応用問題 (初級編)⑧
	9	記述式応用問題 (初級編)⑨
	10	記述式応用問題 (初級編)⑩
	11	記述式応用問題 (初級編)⑪
	12	記述式応用問題 (初級編)⑫
	13	記述式応用問題 (初級編)⑬
	14	記述式応用問題 (初級編)⑭
	15	記述式応用問題 (初級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学直前演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法応用演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法直前演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	論文式対策総合 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	論文式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 解答上の留意点</li> <li>2 財務会計(計算) 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>3 財務会計(理論) 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>4 管理会計 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>5 企業法 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>6 監査論 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>7 租税法 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>8 経営学 記述式模擬試験(初級編)①</li> <li>9 財務会計(計算) 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>10 財務会計(理論) 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>11 管理会計 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>12 企業法 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>13 監査論 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>14 租税法 記述式模擬試験(初級編)②</li> <li>15 経営学 記述式模擬試験(初級編)②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	BATIC
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	英語による基本的な会計用語及び会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な英文による問題文の読解力の習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の基本概念</li> <li>2 取引と仕訳</li> <li>3 仕訳帳と元帳</li> <li>4 試算表</li> <li>5 決算修正仕訳(会計期間と決算修正仕訳)</li> <li>6 決算修正仕訳(経過勘定項目)</li> <li>7 決算修正仕訳(再振替仕訳)</li> <li>8 決算修正仕訳(修正後残高試算表)</li> <li>9 決算修正仕訳(減価償却)</li> <li>10 棚卸資産と売上原価の会計処理(棚卸計算法)</li> <li>11 棚卸資産と売上原価の会計処理(継続記録法)</li> <li>12 精算表と締切仕訳(精算表)</li> <li>13 精算表と締切仕訳(締切仕訳)</li> <li>14 精算表と締切仕訳(締切後試算表)</li> <li>15 精算表と締切仕訳(会計サイクル)</li> <li>16 財務諸表(損益計算書)</li> <li>17 財務諸表(貸借対照表)</li> <li>18 財務諸表(利益剰余金)</li> <li>19 財務諸表(配当)</li> <li>20 基本的な前提とGAAP(発生主義会計と公準)</li> <li>21 基本的な前提とGAAP(会計原則)</li> <li>22 基本的な前提とGAAP(一般に公正妥当と認められた会計原則)</li> <li>23 基本的な前提とGAAP(基準設定の当事者)</li> <li>24 財務諸表分析(収益性)</li> <li>25 財務諸表分析(資産活用)</li> <li>26 財務諸表分析(流動性)</li> <li>27 財務諸表分析(負債管理)</li> <li>28 財務諸表分析(総合的な業績の財務指標)</li> <li>29 内部統制</li> <li>30 現金管理</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	BATIC演習
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	基本的な問題の演習による基礎力の確認
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基本的な英文による問題を正確に解答できる
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 個別基礎問題(簿記の基礎概念) 2 個別基礎問題(取引と仕訳①) 3 個別基礎問題(取引と仕訳②) 4 個別基礎問題(仕訳帳と元帳) 5 個別基礎問題(試算表) 6 個別基礎問題(決算修正仕訳①) 7 個別基礎問題(決算修正仕訳②) 8 個別基礎問題(棚卸資産と売上原価の会計処理) 9 個別基礎問題(精算表と締切仕訳) 10 個別基礎問題(財務諸表①) 11 個別基礎問題(財務諸表②) 12 個別基礎問題(基本的な前提とGAAP) 13 個別基礎問題(財務諸表分析) 14 個別基礎問題(内部統制) 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	監査技術 再実施
	2	監査技術 質問
	3	監査技術 年齢調べ
	4	監査技術 棚卸資産に対する手続
	5	監査技術 確認
	6	監査技術 分析的手続
	7	監査技術 経営者確認書
	8	リスク・アプローチ
	9	監査リスク
	10	リスク評価手続の全体像
	11	リスク・アプローチとの関係
	12	監査とIT
	13	ITの特徴①
	14	ITの特徴②
	15	監査に係る予備的な活動 契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 監査に係る予備的な活動 意義</li> <li>2 監査に係る予備的な活動 何を検討するのか</li> <li>3 監査に係る予備的な活動 検討の結果</li> <li>4 監査計画の定義</li> <li>5 監査計画の分類</li> <li>6 監査証拠の入手方法</li> <li>7 監査サンプリング</li> <li>8 重要性の定義</li> <li>9 監査上の重要性が用いられる場面</li> <li>10 重要な虚偽表示か否かの判断</li> <li>11 監査上の重要性の例</li> <li>12 重要性の基準値の決定</li> <li>13 特別な検討を必要とするリスクの定義等</li> <li>14 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価</li> <li>15 関連当事者とは</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 直接実際原価計算</li> <li>2 直接実際原価計算の意義</li> <li>3 直接実際原価計算による損益計算書</li> <li>4 固定費調整</li> <li>5 直接標準原価計算</li> <li>6 直接標準原価計算の意義</li> <li>7 直接標準原価計算による損益計算書</li> <li>8 直接標準原価計算における固定費調整</li> <li>9 直接原価計算に関する諸論点</li> <li>10 生産・販売量と営業利益の関係の整理</li> <li>11 セグメント別損益計算書</li> <li>12 固定費(キャパシテイ・コスト)の管理</li> <li>13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由</li> <li>14 予算管理の基礎</li> <li>15 予算と予算管理の意義</li> <li>16 予算管理のプロセス</li> <li>17 予算管理と責任会計</li> <li>18 予算の種類</li> <li>19 予算編成の方法</li> <li>20 予算編成の手順</li> <li>21 予算統制</li> <li>22 予算実績差異分析の意義と手続</li> <li>23 予算実績比較損益計算書の作成</li> <li>24 予算実績差異分析の詳細</li> <li>25 予算報告書</li> <li>26 講義内演習①</li> <li>27 講義内演習②</li> <li>28 講義内演習③</li> <li>29 講義内演習④</li> <li>30 講義内演習⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	管理会計論上級演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題(中級編)① 2 計算基礎問題(中級編)② 3 計算基礎問題(中級編)③ 4 計算基礎問題(中級編)④ 5 計算基礎問題(中級編)⑤ 6 計算基礎問題(中級編)⑥ 7 計算基礎問題(中級編)⑦ 8 計算基礎問題(中級編)⑧ 9 計算基礎問題(中級編)⑨ 10 計算基礎問題(中級編)⑩ 11 計算基礎問題(中級編)⑪ 12 計算基礎問題(中級編)⑫ 13 計算基礎問題(中級編)⑬ 14 計算基礎問題(中級編)⑭ 15 計算基礎問題(中級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総説一株式会社の機関設計</li> <li>2 公開会社の機関構造の特色</li> <li>3 株主総会の権限</li> <li>4 総会屋対策</li> <li>5 株主総会決議の瑕疵</li> <li>6 取締役の行為規制の必要性</li> <li>7 善管注意義務と忠実義務</li> <li>8 利益相反取引</li> <li>9 取締役の報酬規制</li> <li>10 違反行為差止請求権</li> <li>11 取締役会の意義・設置</li> <li>12 代表取締役の意義・設置</li> <li>13 監査役の権限・義務</li> <li>14 監査役会の権限</li> <li>15 会計参与の権限・義務</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資金調達総説</li> <li>2 募集株式の発行等の意義</li> <li>3 募集事項の決定事項</li> <li>4 募集事項の決定機関</li> <li>5 募集株式の申込み</li> <li>6 募集株式の割当て</li> <li>7 総数引受の場合－申込み・割当ての例外</li> <li>8 募集株式の引受け</li> <li>9 申込み(引受け)の瑕疵－引受けの無効又は取消しの制限</li> <li>10 出資の履行等</li> <li>11 失権株式</li> <li>12 募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記</li> <li>13 払込金額が不正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任</li> <li>14 違法発行に対する措置</li> <li>15 新株予約権の意義</li> <li>16 募集新株予約権の発行</li> <li>17 新株予約権の譲渡</li> <li>18 新株予約権の行使</li> <li>19 新株予約権無償割当て(277条～)</li> <li>20 株式と社債の共通点</li> <li>21 株式と社債の相違点</li> <li>22 株式と社債の接近化現象</li> <li>23 募集株式の発行手続</li> <li>24 社債原簿</li> <li>25 社債管理者</li> <li>26 社債権者集会</li> <li>27 社債の譲渡(社債券を発行しない場合)</li> <li>28 社債の譲渡(社債券を発行する場合)</li> <li>29 利息の支払</li> <li>30 社債の償還</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題（中級編）① 5 個別基礎問題（中級編）② 6 個別基礎問題（中級編）③ 7 個別基礎問題（中級編）④ 8 個別基礎問題（中級編）⑤ 9 個別基礎問題（中級編）⑥ 10 個別基礎問題（中級編）⑦ 11 個別基礎問題（中級編）⑧ 12 個別基礎問題（中級編）⑨ 13 個別基礎問題（中級編）⑩ 14 個別基礎問題（中級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記上級演習 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題(中級編)① 2 計算基礎問題(中級編)② 3 計算基礎問題(中級編)③ 4 計算基礎問題(中級編)④ 5 計算基礎問題(中級編)⑤ 6 計算基礎問題(中級編)⑥ 7 計算基礎問題(中級編)⑦ 8 計算基礎問題(中級編)⑧ 9 計算基礎問題(中級編)⑨ 10 計算基礎問題(中級編)⑩ 11 計算基礎問題(中級編)⑪ 12 計算基礎問題(中級編)⑫ 13 計算基礎問題(中級編)⑬ 14 計算基礎問題(中級編)⑭ 15 計算基礎問題(中級編)⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 記述式基礎問題（中級編）①</li> <li>2 記述式基礎問題（中級編）②</li> <li>3 記述式基礎問題（中級編）③</li> <li>4 記述式基礎問題（中級編）④</li> <li>5 記述式基礎問題（中級編）⑤</li> <li>6 記述式基礎問題（中級編）⑥</li> <li>7 記述式基礎問題（中級編）⑦</li> <li>8 記述式基礎問題（中級編）⑧</li> <li>9 記述式基礎問題（中級編）⑨</li> <li>10 記述式基礎問題（中級編）⑩</li> <li>11 記述式基礎問題（中級編）⑪</li> <li>12 記述式基礎問題（中級編）⑫</li> <li>13 記述式基礎問題（中級編）⑬</li> <li>14 記述式基礎問題（中級編）⑭</li> <li>15 記述式基礎問題（中級編）⑮</li> <li>16 記述式基礎問題（中級編）⑯</li> <li>17 記述式基礎問題（中級編）⑰</li> <li>18 記述式基礎問題（中級編）⑱</li> <li>19 記述式基礎問題（中級編）⑲</li> <li>20 記述式基礎問題（中級編）⑳</li> <li>21 記述式基礎問題（中級編）㉑</li> <li>22 記述式基礎問題（中級編）㉒</li> <li>23 記述式基礎問題（中級編）㉓</li> <li>24 記述式基礎問題（中級編）㉔</li> <li>25 記述式基礎問題（中級編）㉕</li> <li>26 記述式基礎問題（中級編）㉖</li> <li>27 記述式基礎問題（中級編）㉗</li> <li>28 記述式基礎問題（中級編）㉘</li> <li>29 記述式基礎問題（中級編）㉙</li> <li>30 記述式基礎問題（中級編）㉚</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 株主資本等変動計算書の目的</li> <li>2 株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲</li> <li>3 株主資本等変動計算書の表示方法</li> <li>4 株主資本等変動計算書の注記事項</li> <li>5 キャッシュ・フロー計算書の作成目的</li> <li>6 利益とキャッシュ・フロー</li> <li>7 資金概念</li> <li>8 キャッシュ・フロー計算書の区分</li> <li>9 直接法と間接法</li> <li>10 キャッシュ・フロー計算書の注記事項</li> <li>11 会計方針</li> <li>12 後発事象</li> <li>13 偶発事象</li> <li>14 時価情報</li> <li>15 継続企業情報</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 連結財務諸表総論 2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成 3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成 4 段階取得(その他投資先から子会社) 5 段階取得(関連会社から子会社) 6 子会社株式の追加取得 7 子会社株式の一部売却 8 連結除外(関連会社になった場合) 9 連結除外(関連会社にも該当しなくなった場合) 10 子会社の増資(株主割当有償増資) 11 子会社の増資(第三者割当有償増資) 12 子会社の新株予約権の取扱い 13 子会社が保有する自己株式 14 評価差額の実現(非償却性資産) 15 評価差額の実現(償却性資産) 16 成果連結総論 17 未実現利益の消去(棚卸資産) 18 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整 19 未達取引(未達商品) 20 未達取引(決済未達) 21 手形取引 22 未実現利益の消去(非償却性資産) 23 未実現利益の消去(償却性資産)	24 社債取引(発行時取得) 25 社債取引(発行後取得) 26 持分法総論 27 持分法(追加取得) 28 持分法(一部売却) 29 持分法(持分法除外) 30 持分法(未実現利益の消去) 31 連結税効果(未実現利益:棚卸資産) 32 連結税効果(未実現利益:非償却性資産) 33 連結税効果(未実現利益:償却性資産) 34 連結税効果(未実現利益:持分法適用会社) 35 連結税効果(貸倒引当金) 36 連結税効果(子会社の評価差額:非償却性資産) 37 連結税効果(子会社の評価差額:償却性資産) 38 連結税効果(関連会社の評価差額) 39 連結税効果(財務諸表表示) 40 連結税効果(税率の変更) 41 包括利益総論 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	短答式対策上級総合 I
実務家教員	○
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	財務諸表監査における不正の防止及び発見に対する流れを中心に学ぶ
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実務事例における監査手続きを理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者により、理解を深めることを目的に実務での例示を用い演習する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務会計(計算) 択一式応用問題 (中級編)①</li> <li>2 財務会計(理論) 択一式応用問題 (中級編)①</li> <li>3 管理会計 択一式応用問題 (中級編)①</li> <li>4 企業法 択一式応用問題 (中級編)①</li> <li>5 監査論 択一式応用問題 (中級編)①</li> <li>6 財務会計(計算) 択一式応用問題 (中級編)②</li> <li>7 財務会計(理論) 択一式応用問題 (中級編)②</li> <li>8 管理会計 択一式応用問題 (中級編)②</li> <li>9 企業法 択一式応用問題 (中級編)②</li> <li>10 監査論 択一式応用問題 (中級編)②</li> <li>11 財務会計(計算) 択一式応用問題 (中級編)③</li> <li>12 財務会計(理論) 択一式応用問題 (中級編)③</li> <li>13 管理会計 択一式応用問題 (中級編)③</li> <li>14 企業法 択一式応用問題 (中級編)③</li> <li>15 監査論 択一式応用問題 (中級編)③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 バランスト・スコアカード(BSC)</li> <li>2 デリバティブ</li> <li>3 先物取引</li> <li>4 オプション取引</li> <li>5 オプション取引を用いたポートフォリオ(オプションの合成)</li> <li>6 金利オプション</li> <li>7 スワップ取引</li> <li>8 テイラーの科学的管理法</li> <li>9 ファヨールの管理論</li> <li>10 人間関係論と近代モチベーション論</li> <li>11 バーナード理論</li> <li>12 サイモン、マーチの理論</li> <li>13 管理原則論</li> <li>14 組織構造論(各論)</li> <li>15 組織文化論</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎 I
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科 (2年制昼間部)
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間 (1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法人税法総則・課税標準</li> <li>2 法人税額の計算の基礎</li> <li>3 使途秘匿金(追加課税される金額)</li> <li>4 外国税額控除</li> <li>5 貸倒損失(貸倒損失の計上が認められる場合)</li> <li>6 欠損金の繰越控除・繰戻し還付</li> <li>7 収用等の特別控除(特別控除の適用要件)</li> <li>8 圧縮記帳</li> <li>9 役員・使用人兼務役員の判定</li> <li>10 役員給与(1項基準額)</li> <li>11 使用人給与</li> <li>12 外国子会社から受ける配当等の益金不算入</li> <li>13 みなし配当</li> <li>14 グループ法人税制(概要)</li> <li>15 講義内演習・確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税法の概要</li> <li>2 各種所得と各種所得の金額の計算(不動産所得・譲渡所得)</li> <li>3 減価償却</li> <li>4 課税標準・課税所得金額の計算</li> <li>5 所得控除額の計算</li> <li>6 納税税額の計算(報酬・料金等に係る源泉徴収)</li> <li>7 申告・納付</li> <li>8 源泉徴収</li> <li>9 有価証券に係る課税の特例</li> <li>10 消費税法の概要</li> <li>11 仕入れに係る消費税額</li> <li>12 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整</li> <li>13 仕入れに係る対価の返還等</li> <li>14 売上げに係る対価の返還等</li> <li>15 講義内演習・確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	会計士キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	公認会計士学科（2年制昼間部）
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	監査法人に就業経験のある教員による講義。会計士として活躍できる人材育成をテーマに、基本的な監査人としての心得、幅広い分野で役に立つコミュニケーションスキルの習得など、監査人として必要な知識を身につける
授業の進め方	実務経験者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実社会で通用する各業界研究、コミュニケーションスキルの習得
教科書	配布プリント・資料
特記	会計監査実務経験者により各業界の情報、監査業務を効率よく行うためのコミュニケーションスキルにつき実例をあげながら演習する
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実務家講演 1 短答式試験受験の心得</li> <li>2 実務家講演 2 論文式試験受験の心得</li> <li>3 実務家講演 3 監査法人の仕事</li> <li>4 実務家講演 4（個人事務所設立）独立後の仕事</li> <li>5 監査法人理解 3 オフィスタワー 1</li> <li>6 監査法人理解 4 オフィスタワー 2</li> <li>7 監査法人理解 5 監査法人合同説明会</li> <li>8 監査法人理解 6 職種研究 1（監査）</li> <li>9 監査法人理解 7 職業研究 2（金融）</li> <li>10 監査法人理解 8 職業研究 3（パブリック）</li> <li>11 監査法人理解 9 職業研究 4（IT）</li> <li>12 監査法人理解 10 職業研究 5（海外）</li> <li>13 監査法人理解 11 職業研究 6（コンサルティング）</li> <li>14 監査法人理解 12 職業研究 7（その他）</li> <li>15 実務家講演 5 公認会計士の将来像について</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	